

V. 疾患別感染対策 1. 薬剤耐性菌

薬剤耐性菌は、1つ以上のクラスの抗菌薬に耐性を示す細菌である。医療機関等では、多くの抗菌薬の使用が行われるため、特に注意が必要である。薬剤耐性菌の制御には、適切な感染対策の実施と、抗菌薬適正使用が必要である。

特に、手指衛生の遵守状況と薬剤耐性菌の拡散状況には、関連性が高いため、平時からの標準予防策の遵守ができていることが特に重要である。

(1) 薬剤耐性菌の注意リスク

リスク		菌名
★★★★	①	CPE (カルバペネマーゼ産生腸内細菌科細菌)
	②	VRE (バンコマイシン耐性腸球菌)
	③	MDRA (多剤耐性アシネトバクター)*MBL産生菌含む
	④	MDRP (多剤耐性緑膿菌)*MBL産生菌含む
	⑤	<i>Candida auris</i> (カンジダ・アウリス)
★★★	⑥	Pre-MDRP(2剤耐性緑膿菌)
	⑦	CRE (カルバペネム耐性腸内細菌科細菌)
★	⑧	MRSA (メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)
	⑨	ESBL産生菌 (基質特異性拡張型β-ラクタマーゼ産生菌)

(2) 薬剤耐性菌の検出状況の確認

ICTWeb®システムにて、毎日部署の薬剤耐性菌の新規検出状況を確認する。

1) 電子カルテ ⇒ ICTWeb



2) フロアマップ



3) 新規検出菌はフラッグにて表示されている。



★ フロアマップ ★

注目菌選択: すべて

病棟: 第1階

一覧表示

赤(接触感染対策)
青(経路別感染対策)
黄(空気感染対策)

MRSA, ESBL, CD, CRE, MEL, PreMDRP, MDRP, MDRA, VRE, PRSP, 結核菌, 真菌, AD/AMS, 肺炎球菌, 腸球菌, 酵母

1056	1055	1054	1053	1052	1051	1064	1063	1062	1061	1060	1059	1058	1057
01	01	01	01	01	01	01	01	01	01	01	01	01	01
077-071		1114-00	08-9539			10-2410	1096-14	1125-59	108-194			10-3044	
17/05/09入院		16/09/14入院	17/04/14入院			17/03/24入院	17/04/21入院	16/10/31入院	17/03/31入院				15/12/31入院

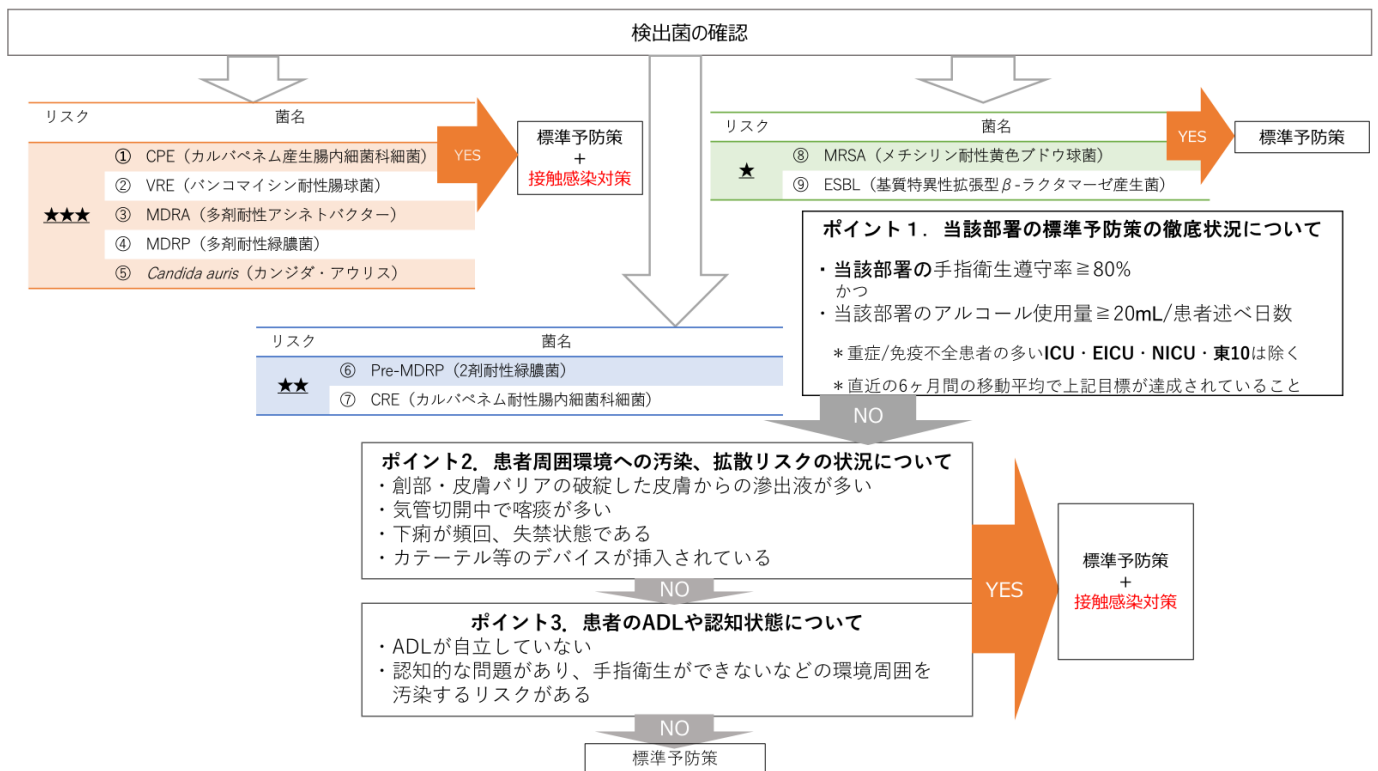
1079	1078	1077
02	03	02
1050-10	1100-11	070-06
11-1301		11-1301

(3) 病棟で薬剤耐性菌が検出された際の対応

1) 下記フローチャートに従って、感染対策についてアセスメントを行う。

アセスメント結果は、記事にテンプレートにて記載する (II. 隔離予防策 2. 経路別感染対策の項参照)

病棟で薬剤耐性菌が検出された際の対応フローチャート



2) 経路別感染対策を追加した場合、対策の入力を行う

① 患者基本から感染情報のタブをクリック



患者基本

患者情報 99909017
性別 男 生年月日 44/11/11 (24歳5ヶ月)
最新履歴 2017/04/04

基本情報 | 理想表示 | 服薬指導情報 | 社会保障 | 連絡先 | 地域連携 | 国健情報 | 家族歴

住所
現住所 大阪府 河内長野市 高向 2
TEL 066909017 平5960006

その他 大阪府 吹田市 津善台
3-9-3
TEL 06536962

更新者 / 更新日

安静度 室内自由 NEC 看護師 2017/08/11
生活の自由度 日常生活ほぼテスト NEC医師 2017/01/13
観察の程度 継続した観察テスト NEC医師 2017/01/13

障害情報
視覚障害 発声不可 日本語理解不能 閉所恐怖症

② 隔離情報を入力すると、フロアマップに反映された経路別感染対策の色表示がされる



感染情報

職業感染予防対策感染症

更新者	更新日	隔離予防対策感染症	更新者	更新日
HBe抗原	不明 未検査	MRSA	不明 未検査	岩上 昇
HBs抗原	不明 未検査	MDRP	不明 未検査	2010/05/19
HBc抗体	不明 未検査	PRSP	不明 未検査	
HCV抗体	不明 未検査	VRE	不明 未検査	
HIV抗体	不明 未検査	MDRA	不明 未検査	
ATLA	不明 未検査	VRSA	不明 未検査	
RPR	不明 未検査	結核菌	不明 未検査	テスト NEC医師 2012/06/07
TPAB	不明 未検査			

抗体情報

麻疹 不明 未検査
水痘 不明 未検査
風疹 不明 未検査
ムンプス 不明 未検査
HBsAb 不明 未検査

隔離情報

接触対策 要 不要 未設定
飛沫対策 要 不要 未設定
空気対策 要 不要 未設定
フリーコメント ◆手術オダ等の他オダ/他システムには反映され



★フロアマップ★

注目菌選択: すべて

病棟: 東1階

赤(接触感染対策)
緑(飛沫感染対策)
黄(空気感染対策)

前 M: MRSA ES: ESBL CD: CRE
緑 M: MEL PreMDRP MD: MDRP 赤 M: MDRA
赤 V: VRE 赤 PR: PRSP 結核菌 緑: ｲﾝﾌﾙ
赤: ｲﾝﾌﾙ 赤: ｲﾝﾌﾙ 赤: ｲﾝﾌﾙ

1056	1055	1054	1053	1052	1051	1064	1063	1062	1061	1060	1059	1058
01	01	01	01	01	01	01	01	01	01	01	01	01
077 871		1114 80	08 9539			10 2418	096 14	1125 59	100 134			
17/06/02入局		16/09/14入局	17/04/14入局			17/03/24入局	17/04/21入局	16/10/31入局	17/03/31入局			

1079 1078

3) 対策の実施

II. 隔離予防策 2. 経路別感染対策に準じる

(4) 過去1年間で海外の医療機関に入院歴のある患者への対応

海外の医療機関で濃厚な医療曝露を受けると、その地域で流行している薬剤耐性菌を保菌する可能性があること、これらの患者から他の患者へ薬剤耐性菌が伝播する可能性があることはグローバル化が進む昨今において世界中で懸念されている。

海外からの薬剤耐性菌による院内でのアウトブレイクを防ぐために、『12カ月以内に海外の医療機関で入院歴を有する患者』が当院へ入院する場合は、感染制御部へ連絡と以下のスクリーニング検査を行い、スクリーニング結果が判明するまでは標準予防策+接触感染対策を行うこととする(フローチャートは以下の通り)。

スクリーニング検査について

- ① 鼻腔ぬぐい液：『*9 微生物→04 鼻腔内分泌液』でオーダーしてください
 - ② 糞便(糞便が出ない場合は直腸スワブで提出)：『*9 微生物→14 糞便(監視培養)』でオーダーしてください
- (* 背景や渡航先次第で、追加のスクリーニング検査を御依頼することがあります)

それぞれ検査方法選択場面で、以下をチェックして提出してください

- ・ 【一般細菌】03 培養・同定—好気
- ・ 21. 感受性セット選択画面：01 A・B・C いずれか
- ・ 25. 情報コメント選択画面：フリーコメントに『渡航歴スクリーニング』と入力

